

19
30

作戰經過概要第六號

十二月十一日

日時刻	記事
三二八	<p>行衛不明トナレル戰鬪機三機ハ「カモイ」岬附近ニ不時着機體ハ大破セルモ人員ハ無事歸還セリ</p>
九	<p>足柄飛行機「リンガエン」沖ニ於テ七千噸ノ英國商船一隻ヲ撃沈ス</p>
一〇	<p>馬來沖海戰ニ於テ戰艦二隻ノ外大型驅逐艦又ハ巡洋艦一隻ヲ撃沈ス</p> <p>右攻撃ニ參加シタル中攻ノ内佛印南部ニ不時着セル二機ハ一機ノ誤ナリ</p>
〇八四〇	<p>「ウエイキ」空襲部隊中攻二十六機敵砲臺機銃陣地ヲ爆撃、敵戰鬪機二機ト三十分間空戰我が中攻一機自爆被彈四機</p> <p>「ウエイキ」島ノ倉庫及指揮所「ウイルクス」島西部高角砲臺ヲ概ネ壊滅ス</p>

0783

1111 〇二四〇	"	"	"	"	"
「レガスピ」第一回上陸成功ス敵ノ抵抗ナシ 未明「ウエイキ」攻撃中攻十五機大艇五機ハ天候不良 ノ爲同島ヲ發見シ得ズ飛行艇二機ノミ〇三四〇頃滑走 路ヲ爆撃一機ハ歸還セズ	"	"	"	"	"
1111 〇二四〇	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"
"	"	"	"	"	"

0784

「グワム」島攻略状況

- 一 海軍部隊ハ同島周邊要地ヲ確保目下整理中
- 二 總督以下政廳幹部多數及海兵隊司令官以下軍人約二〇〇名ヲ捕虜トセリ
- 三 鹵獲品ノ主ナルモノ航空機用燃料一〇〇〇觔、重油八一四觔、機動船艇二隻、鐵材爆藥多數
- 四 掃箒 阿賀市市街戰ニ於テ戰死兵一、負傷兵曹長一、下士官四、軍屬一
- 五 在留邦人三十五名ハ投獄中ヲ救出ス
- 六 無線電信所海底電信所共ニ大破使用ニ堪エズ

(終)

0785

1. 馬來方面

○ 昨日南方部隊が来り、船中概観、依り、

7日、カヤン沖へ Norway 商船 Pigchock (58/300T) を奪捕し、

10日 野分(4dg) 以南支那海南部へ Norway 船 Helene (1100) を奪捕し、事判明。

○ $\frac{1200}{12}$ 75 指揮官、護衛隊、部署、下(如)設(7層)等

$\frac{20}{75}$ 又初雲、白雪の馬來部隊を捕し、指揮下へ入る $\frac{1800}{12-14}$ 「木島」

SSF 海面へ之と合同して如く行動せしむ。

$\frac{10}{75}$ 又初雲、白雪 Borneo 攻略部隊 ($\frac{dx2}{SSC}$) ^{支隊} 14 別動 $\frac{2800}{12-13}$

「カヤン」湾後 $\frac{1800}{12-14}$ 1点 - 遠く如く行動す。

√ ○ $\frac{0570}{70}$ 林西、地点等不明の7723加 敵艦4隻へ、確實、撃沈せしむ。

如左所記。

↑

√0 輸送船 着山丸「加一」号、南方海面に
潜水艇の音響が聞こえ、如左所記の被害程度不明に記す。

√0 (小井島海軍少佐の報告) 正子 12 「10月2日」 敵潜水艇出現の輸送船3隻が
破航行不能に。
(潜水艇報告)

○ 高昨日島津部隊潜水部隊指揮官、5隻、作路海面、108 採り要、
致す所記。

○ 10月22日、佐藤少佐の1200噸 Anambas 島島去航行中、敵潜水
艇3隻のSingapore 南西、航行中に見「古」本島地機雷敷設、

海 軍

0787

2. 比島方面.

○ 10日 Vigain 攻略、際遭難者 10号掃海艇、被害
戦死者 持込5 下士官兵7中.

生存者 士官3 (軽傷) 下士官兵40 (重傷3 軽傷11)

○ 陸軍同中支隊、十二月中「マヤカサオ」及「サトウ」飛行場ヲ構築セリ.

○ 第一夜警班長 20日司令官、報告.

天候良好、飛行場基地員降参部定、計4機90機、飛行ニ適ス.

尚其地測量、結果飛行場幅120長サ900 地盤堅固報告.

○ 58司令官 → 25日司令官.

第一夜警部隊、作隊日報、2日海上マヤカサオ、協隊廿夜 58、千歳、

海

冊

0788

$\frac{20}{16dg}$ の之 應 如 所 部 各 通 報。

(牙 土 島 艦 隊. 陸 軍 支 隊. TX 2 の 海 軍 運 送 船 TX 7 又 10 支 隊 又 11
上 陸, 豫 定 20 線 上 十 七 日 上 陸 十 九 日 上 陸, 又 十 九 日)

○ 第 一 島 艦 隊, 大 部 の 10 日 上 陸 方 面 發 達 TX 6 の 運 送 船 14 日 後 高 雄 著
島 上 到 着, 予 定。

○ 第 四 島 艦 隊, 一 部 (長 官 及 24 dg) の 10 日 司 命 官 之 指 揮 下 $\frac{1700}{10}$ Legaspi
發 達 15 日 夕 刻 奄 美 大 島 到 着, 予 定。

○ 55 号 → 3F 長 官 報 告

① 即 時 及 $\frac{20}{16dg}$ 15 日 0800 着 島 上 一 回 航。

② $\frac{10}{15}$ 艦 隊 海 軍 支 隊 (15 日 夕 刻 奄 美 大 島) Legaspi 中 部。

海

軍

0789

第5 島嶼部隊，作支援之始，即第一隻，為 $\frac{10}{55}$ 之 $\frac{1}{5}$

⇒ 補給物資支援，各所。

① 午歲，14日 迄 Segapic 船力 $\frac{10}{298}$ ，途中 140中，實現の
夕刻發心才，= 同航也。

√ ^{13日} 比島方面航之攻勢，幹中概報

①. ニコラス対心才: Del Carmen, Cabanatuan 攻勢，空中，敵機
僅 2 / 機 12.

② 結果. 擊墜 中型機 1.

擊破海上 大型機 × 9. 中型機 × 7. 練習機 × 8

鏡爆彈破壊: 大型中 × 約 5. 中型機 × 約 5

練習機 約 15.

被害 帰還心才 / 幹中機 × 2.

海軍

0790

香港方面

○ 戰4 概報 依以:

進擊部隊、掃海部隊、以及大嶼山北方水道、掃掃、終了(處分機
為2)。陸軍部隊、以青洲島及馬鞍山島、攻略、攻略兵力、大
部、急水門西口、進出、香港、內進擊、準備、定序、以撥橋
上、

○ 18日午後、水後2機、齊星岩砲台、對之爆擊中、一機、被津自爆

○ 2CF 考得長の香港作戦一般、情況、依以、

12日陸軍、九龍半島、完全、占領、香港島進擊準備、約一團間、
要、Stonecutter 島、既、沈黙、以、齊星岩、大潭半島、砲台、
盛、抵抗中、以、敵、艦艇、大部、尚健全、以、右砲台、庇護下、餘喘、保、

○ 2CF 長官、18日午後、率領、海軍、降伏、勸告、以、香港總督、然否、無拒絕、

0791

4. 南洋方面

○ 10日 Wake = 航空機 $26 \rightarrow$ 空襲部隊4機2機1空襲 \rightarrow 支 \rightarrow 中改一機
撃墜せしむ。(計中改三機被害)

○ Wake 方面. 被害相甚大なる。

GFP \rightarrow GF \rightarrow Wake 攻勢兵力 = 空母加 \rightarrow 3 \rightarrow 2 \rightarrow 望 \rightarrow 旨 意見具申。

GFP \rightarrow GF. 機動部隊 Midway 降破, 北勢 統 \rightarrow 長 然 没 許 \rightarrow 限 \rightarrow
敵 航 空 力 撃 滅 \rightarrow 協 力 \rightarrow 旨 固 答

○ Wake 攻勢部隊 (18S. 65d(dx42) TX2 $\frac{0700}{13}$ $\frac{13}{13}$ 着)

○ 5B9 司令部 - 将旗 \rightarrow 預備本 - 將旗也。

海軍

0792

0. 4P 24 → 麾下.

① カム攻略部隊、編制、解、

② 津軽及 膳、カ、方面攻勢支援隊 = カ、

③ 天洋丸: $\frac{20}{2900}$, 聖心丸、舞鶴 = 特、一々中隊、ヲ「ウ、」攻
略部隊 = カ、

④ カ、方面防衛部隊 = カ、

海

軍

0793

5. 其, 地一般

○ $\frac{1080}{19}$ 先遣部隊指揮官, JSO, 一般, Maui 島, 北方母面, 經于
17日迄 ~ Kila 沖, 回航之敵艦船の攻撃に掃帯す.

○ GF 艦隊長の機動部隊收容計劃, 間々其, 要領, 内報, 且横録抄
に協済す, 其要領.

①. 21ag, 27ag 等の警後北島外敵潛, 掃蕩 12月19日 正午迄 ~
父島, 北 150' 附近 ~ 回航 爾後機動部隊指揮官, 指揮下に入
る也.

②. 本腰申之, 横録等之, 先遣隊之 17日 迄之, 美艦 及 南島島, 在り
又去以格, 原隊, 在り前者, 18日 後者, 19日 迄之, 是原去而,
略談 ~ 協力.

海

軍

0794

6. 潜水艇発見に関する情報

- ① 特選21通信漢報 沖繩'南'500'附近に2隻発見
- ② 大島、監視所4月所11月東間2艘を、潜水艇2隻に、425秒間探り、
- ③ GF漢艇の沖島、8月=報告上潜水艇2隻、
- ④ 南島島、極空飛遺隊4月島、48° 44' 附近に2隻発見。

7. 潜水艇発見に関する情報



十二月十五日

謹に之戰況を聞の上聞に遠に云

一島津方面に於てマシヨ 十三日午前未時迄驅逐船廿南

ノ島津島北南十海向に於て 敵船廿隻一集一討

ノ據り政撃りマシヨノ才之戰に勝つ其後方上に戦況

ノ變化に御座いますマシヨカ 十二日夜十時迄ハタシ沖

敵船



潜中船ノ為折カク在泊致さる

マシヨ陸軍輸送船三隻カ被撃中マシヨ大破船折不

能ハス又軍艦航海甲ノ陸軍輸送船若山丸

十三日晝間印度支那南端カマシヨ岬ノ南方面

海軍

0796

面ニ於テ敵艦中艇ニ為テ撃シセテ片リテ之カ被害
ノ程度ハ判明致シテ片リテ又

二、菲律書島方面ニ於テマニマニ 十三日マニマニ島附近ニ飛
行中ニ多量ノ島北西方海面ニ於テマニマニ島附近ニ飛

（青雨雨艦隊）

行中ニ於テ爆雷攻撃ヲ行ヒマニマニ島ニ於テ撃シ沈没シタリ
昨十三日海軍艦艇ニ對シテ中部岩嶺ノニコンスル

一、ト「カニカニ」カニカニ「カニカニ」カニカニ「カニカニ」カニカニ
テカニカニ一機ノ撃シ陸上機四機、カニカニ七機、練

（銃）

カニカニ機ヲ撃シ、依テ空上セリ又飛揚中ニ依

海軍

龍得平一依

日去龍機約五、十龍機約五、總習機約十五、破敵取

兵多、者射敵機ノ空中ニ在リテ多ク一日備。一機ニ

過キテ又昨日ハ此ニ以島所在敵之軍ノ大部ヲ

備機ヲ

擊滅シ得テモト存ジ

我軍之、龍機二機ハ、獨一遺留シテ去ル也又

之、各機七箇、龍機一、掃海部隊、大嶼、北吉山道、

清掃ノ完了シ陸軍隊ヲ以テ青衣島ニ島縣島ヲ

子

古偵察ニヨリ、龍機ノ内、連隊ノ定機取

マシ、水道掃中、意方取ルニ多機、三箇ヲ

海

軍

印度イマス

又十三日午後水上偵察機二機、摩羅島に飛来シ、
偵察機二機、摩羅島の内一機に遭ヒ、故障自爆致シタ。

尚十三日午後、第一遣支隊司令部長官、青島島へ
軍使ノ遣送シテ降伏ヲ勸告致シ、マタ、總督ノ署名

ノ後、之ヲ拒絶シ、トノ事ヲ印度イマス。

南洋軍司令部 十月 陸軍大臣 坂井 征四郎 敬

司令官、青島島に飛来シ、陸軍大臣、坂井、相尋ハシ

テ、之ヲ拒ム、マタ、其ノ事ヲ海軍大臣、坂井、相尋ハシ

海軍

同通二

米下採一船ノ事 沖ノ事 米下採一船ノ事 沖ノ事

米下採一船ノ事 沖ノ事 米下採一船ノ事 沖ノ事

四 船ノ事 沖ノ事 米下採一船ノ事 沖ノ事

船ノ事 沖ノ事 米下採一船ノ事 沖ノ事

沖繩島南方 五百里 附近 二隻

伊豆大島 西方 海面 一隻

豊後氷道 沖島 附近 一隻

南島 島一 北東方 四百四十里 附近 一隻

昭和十七年 十一月 十日

海軍部 局長 永野 修身

海軍



8
30
作戦経過概要第七號

日	時刻	記
〃	一八三〇	<p>5S 司令官 ↓ 3E 参謀</p> <p>五戰隊機密第五七四番電</p> <p>今迄ノ敵情ヨリ敵戦備ヲ充實セザルウチニ速ニ「ダバオ」攻略ヲ實施スルヲ有利ト認ム</p> <p>上海在勤武官 ↓ 軍令部第三部長</p> <p>機密第一一八番電</p> <p>「シンガポール」十一日E電 「ダフクーバー」ノ</p> <p>英本國宛本日電報中「シンガポール」在泊軍艦ハ</p> <p>「キングジョージ五世」及巡洋艦五隻ノミニテ作戦</p> <p>能力無キ旨述べ居レリ</p>

十月十日

0801

<p>一二二〇〇</p>	<p>一二二〇〇</p>	<p>伊二十二潛↓先遣部隊指揮官、伊十八潛等 「ジョンストン」攻撃ニ關シ左ノ通定ム 一 實施艦 伊二十二潛、伊十八潛 二 砲撃開始時期 十二月十六日一四〇五 三 射撃彈數 適宜 以下略</p>
<p>〃</p>	<p>一二一〇〇</p>	<p>聯合艦隊副官↓軍令部副官 大海機密第一二二番電ニ關シ侍從武官長宛 左記執奏方取計相成度 「優渥ナル勅語ヲ賜リ臣等恐懼感激ニ堪ヘス小成ニ 安ンスルニトナク益奮勵誓ツテ聖旨ニ副ヒ奉ラン コトヲ期ス 聯合艦隊司令長官山本五十六」</p>
<p>〃</p>	<p>一二一三〇</p>	<p>「クチン」方面偵察機ハ途中天候不良ノ爲反轉歸投 「ミリ」市北方石油「タンク」二箇所炎上中破壊ノ</p>

跡アリ市街北側ノ小飛行場ハ溝ヲ掘リ破壊シアルヲ認ム

一一三〇〇

第二急襲部隊指揮官↓大臣、總長、比島部隊指揮官等

一十二日一〇五五ヨリ一二二六迄ノ間那珂及輸送船ニ對シ敵四發攻撃機六機ノ執拗ナル攻撃ヲ受ケシモ輸送船一隻ニ命中彈一アリ輕微ノ損傷ヲ受ケタル外被害ナシ

三(略)

一爆撃ヲ受ケ擱座セシ輸送船二隻ハ荷揚進捗不良ノ爲荷揚ニ更ニ二日ヲ要スル外他ノ四隻ハ本夕終了二一三〇出港セリ

四當隊二二〇〇「ビガン」發馬公ニ回航ス

一十日以後敵ノ爆撃情況左ノ通

(1) 爆撃高度概ネ四、〇〇〇米

〃	一三五〇	<p>第十一航空艦隊參謀長↓^{3P}長官</p> <p>「レガスピ」明十三日基地調査員ヲ派遣調査ノ上</p>
〃	一三五〇	<p>第十一航空艦隊參謀長↓^{G.P}^{2P}參謀長</p> <p>「アパリ」飛行場ヲ調査セル處狹隘ニシテ且擴張ノ餘地少キ旨ノ電アリ</p>
一一一	一三三三〇	<p>「パタニ」碇泊中ノ輸送船敵潜水艦ノ襲撃ヲ受ケ</p> <p>三隻大破航行不能トナル</p>
		<p>(四) 敵ノ爆撃ヲ蒙リタル回數那珂八回中二十一節乃至二十八節ニテ回避運動ヲ行ヒ二回ノ至近彈(五〇米以内)ヲ、輸送船碇泊中六回ノ内命中彈一至近彈一ヲ受ケタリ</p> <p>之ガ爲那珂ハ概報第三號ノ死傷者ヲ生ジ上甲板以上ノ外舷ニ最大徑三吋ノ破口約五箇ヲ生ジタル外船體兵器機關ニ損傷ナシ</p>

	<p>狀況良ケレバ十四日一部兵力（零戦六機程度）ヲ 進出爾餘ノ兵力ハ十七日以後進駐可能ノ見込ナリ 「ダバオ」ハ基地整備次第轉進ノ豫定ニテ攻略期 日ノ繰上差支ヘナキ意向ナリ</p>
<p>一三 〇六〇〇</p>	<p>GP司令長官↓GP各司令長官 主力部隊十三日〇六〇〇往島着</p>
<p>〇七三〇</p>	<p>哨戒飛行機ニ依リ劍崎ノ一三〇度二軒ニ敵潜水艦 ラシキモノヲ發見ス</p>
<p>〇七三〇</p>	<p>南支部隊指揮官↓總長、口 機密第三九六番電 南支部隊戰鬪概報第七號（十二月十二日其ノ二） 一進撃部隊ハ掃海部隊ヲ以テ大嶼山北方水道ノ清 掃ヲ終了（處分機雷二）陸戰部隊ヲ以テ青衣島 及馬安島ヲ攻略兵力ノ大部ヲ急水門西口ニ進出</p>

	一三 一〇五〇	<p>セシメ香港港内進撃ノ準備完成セリ</p> <p>ニ南支飛行機隊ハ延機敵一〇機ヲ以テ終日敵驅逐艦以下諸艦艇ノ攻撃ヲ反覆實施シ砲艦及魚雷艇ニ相當ノ損害ヲ與ヘタリ</p> <p>三陸軍部隊ハ微弱ナル敵ノ抵抗ヲ排除シテ九龍市ヲ完全ニ占領香港島攻略準備中ナリ</p>
	20F 機密第四〇〇番電	<p>香港作戰一般情況</p> <p>一陸軍ハ十二日九龍半島ヲ完全ニ占領香港島進撃準備ニ概ネ一週間ヲ要ス</p> <p>ニ敵ノ戰意ハ大ナラザルト認メラルルモ香港島ニ於テ若干ノ抵抗ヲ試ミ以テ面子ヲ保持セントスルモノト察知セララル、 「ストンカツタト」島ハ</p>

	一三	
	一一二〇	〃 一一二〇
<p>既ニ沈黙シタルモ摩星嶺及大潭半島砲臺ハ尙盛 ニ抵抗中ナリ艦艇ハ未ダ大部分健全ニシテ右砲 臺ノ庇護下ニ餘喘ヲ保テツツアリ 艦隊ハ沿岸封鎖ヲ實施スルト共ニ進撃部隊ハ青 衣島附近ニ在リテ香港突入準備中ナリ其ノ後再 ビ連日密雲低ク艦艇ニ對スル爆撃功ヲ奏セズ</p>	<p>第一設營班長↓^{23Sf} 司令官 天候良好飛行場其ノ他整備全部完了戦闘機三十機 ノ飛行ニ適ス</p>	<p>^{22Sf} 參謀↓KF 參謀、 ^{4Ss} 參謀等 ^{5Ss} 參謀等 機密第三四四番電 十日當隊攻撃隊ノ偵察ニヨリ一〇〇頃「アナ バス」島東方ニ於テ敵ノ敷設艦ヲシキモノ新嘉坡 方面ニ急行セルヲ認ム「ボルネオ」要地ニ機雷敷</p>

0807

	一三	設ヲ行ヒシ虞アリ
	一三三〇	<p>口KF ↓ 口GF</p> <p>機密第二三八番電</p> <p>十日ノ「マレイ」沖海戦ニ於テ敵大型驅逐艦一隻雷撃ニ依リ沈没セルコト判明セル旨</p>
	一六〇〇	<p>非島部隊第一急襲隊指揮官↓非島部隊指揮官、第二根據地隊司令官</p> <p>機密第一八番電其ノ一</p> <p>第十九號掃海艇ノ狀況調査左ノ通</p> <p>第十九號掃海艇ハ十日午後米國商船OOSTERヲ拿捕</p> <p>「カガヤン」河口（「リバル」燈臺ノ一二四度</p> <p>四〇度）ニ投錨直後一六一五敵爆彈後部ニ命中爆</p> <p>雷等ノ誘爆ヲ起シ大破艦橋ヨリ前方ヲ水面ニ殘シ</p> <p>約三〇度ノ仰角ニテ着底セルモノナリ</p> <p>ニ生存者</p>

	一三 一六二〇	<p>准士官以上艇長、軍醫長、掌機長（以上輕傷） 機關長計四名 下士官兵三十六名（内重傷者十四名） （重輕傷者ハ一時陸軍野戰病院ニ收容）</p> <p>早苗ハ沖島燈臺ノ七〇度三湮ニ敵潛水艦ヲ發見早苗 吳竹爆雷攻撃ヲ實施セルモ效果不明</p>
"	一七三〇	<p>第一設營班長↓口 <small>IIAF</small></p> <p>機密第六番電</p> <p>測量ノ結果飛行場ハ幅一二〇米長サ九〇〇米地盤堅 シ、常ニ東北東三米ノ恒風アリ戰鬥機三十機ノ使用 ニ適ス</p>
"	二〇〇〇	<p>南支部隊指揮官↓總長、口 <small>CSF</small></p> <p>機密第四〇八番電</p> <p>一進撃部隊ハ引續キ急水門西口附近ニ在リテ港内ヲ</p>

0809

	<p>一三 一一四〇</p>
<p>監視スルト共ニ水偵隊ヲ以テ偵察攻撃ヲ實行セリ 摩星嶺砲臺攻撃中水偵一機被彈自爆セリ 二當隊補給基地ヲ本日ヨリ高山泊地ニ移動セリ 三本日午前降伏勸告ノ爲軍使ヲ派遣セルモ香港總督 ハ熟考ノ上午後之ヲ拒絶セリ</p>	<p>菲島部隊指揮官↓總長。口口口口 菲島部隊戰鬪概報第三號（拔萃） 一第二急襲隊ハ午前敵大型攻撃機五機ノ執拗ナル攻 撃ヲ受ケタルモ輸送船一隻ニ輕微ナル損害ヲ受ケ タルノミ 二十三日〇三三六第二急襲隊「ビガン」北方五〇哩 ノ地點ニ於テ敵潜水艦一ヲ發見那珂、村雨次テ村 雨、五月雨爆雷攻撃シ〇五一〇之ヲ撃沈セリ</p>

一三
一三二五〇

GF 長官 ↓ GF

GF 機密第八三六番電

聯合艦隊電令作第八號

左ノ諸國ハ敵國ニ準ジ之ヲ取計フベシ

「バナマ」、「ノルウェー」、「デンマーク」、「ギリシヤ」、

「キューバ」、「ハイチ」、「グワテマラ」、「ホンジュラス」、

「サルバドル」、「ニカラグア」、「コスタリカ」、「ドミニカ」

南方部隊航空部隊ハ大部ヲ以テ「ニコルスフィールド」

「デルカルメン」、「カバナツヤン」各飛行場敵航

空兵力ヲ攻撃空中ノ敵機僅ニ一機ノミナリ

戦果 撃墜小型飛行機一機、銃爆撃炎上大型飛行機

四機小型飛行機七機練習機八機、銃爆撃破壊大型飛

行機約五機小型飛行機約五機練習機約十五機

被害 未ダ歸還セザルモノ戦闘機二機

一三		陸軍航空部隊ハ「ピナン」ニ於テ輸送船團二十數隻ヲ攻撃撃沈一大破五埠頭破壊市街ニ火災ヲ生ゼシメタリ
一四	〇九〇〇	「レガスピー」ニ於テ第七掃海艇横付ケ燃料搭載中敵攻撃機一機來襲銃撃ニ依リ戦死下士官一、重軽傷航海士外十三名、輕傷者掌機長外三名、微傷者十名
〃	一五三〇	慶洋丸ハ「アバリ」ニ於テ敵潜水艦ノ襲撃ヲ受ケタルモ被害ナシ
〃	一九一〇	陸軍輸送船香椎丸東州島南方約二〇浬ノ地點ニ於テ敵潜水艦ノ雷撃（中部及前部）ヲ受ケ浸水セルモ沈没ヲ免ル
〃	二三五〇	南方部隊航空部隊指揮官↓GF2F司令長官 機密第五六五番電其ノ一、二 南方部隊航空部隊戦闘概報第七號十二月十四日（抜萃）

<p>一四</p>	<p>「マニラ」灣内ノ敵ヲ攻撃セシモ有效戰ナシ 「マニラ」方面空地共ニ敵ヲ見ズ ニ三一〇基地ニ臺南空戰團機六機、高雄空攻撃機六機ヲ進出セシム 三 一五一〇「レガスピ」泊地ヲ攻撃セルB一七型二機ヲ認メ上空哨戒機二機ヲ以テ之ヲ追跡シ一機ヲ不時着セシム 四 一六三〇敵P四〇型戰團機五區三一〇基地ニ低空ニテ來襲零式艦戰二機陸攻五機銃撃ヲ受ケ當分使用不能トナル 「ウエイキ」島ニ對スル空襲 一 使用機 大艇十機中攻三十機 ニ 戰果 (1) 掩體內ノ戰團機一機ニ直撃命中炎上他ノ一機</p>
-----------	--

		<p>ニ至近暉ヲ得</p> <p>(2) 倉庫地帯數箇所ヨリ炎上</p> <p>(3) 敵戦闘機ハ連日ノ我が攻撃ニ依リ殘存一機乃至二機程度ト認めラル</p> <p>日泰軍事同盟ニ基ク協定(日泰協同作戰要綱)現地陸海軍代表者ト泰側代表者トノ間ニ調印</p>
一四	〇〇〇〇	<p>敵輸送船團ヲシキ船影數隻ヲ認ム</p> <p>地點「エヌフ」一九 針路七〇度</p>
一五	〇七四〇	<p>22Sf 陸偵一機ヲ以テ新嘉坡ヲ偵察、軍港内巡洋艦二隻、驅逐艦一隻、潜水艦二隻、飛行艇五機、商船三隻、其ノ他六 商港商船五〇數隻</p>
一四〇〇		<p>先遣部隊潜水艦ハ「ジョンストン」ノ六五度一〇五湮ニ敵哨戒艇一隻(魚雷艇)ヲ發見ス</p>

一五	一四五〇	千洋丸及秋津丸ノ海底電線切斷ノ任務完了ス
〃	一八五〇	<p>航空部隊南方部隊指揮官↓GP長官、2P長官</p> <p>機密第五七四番電（抜萃）</p> <p>「十五日當隊兵力ノ一部ヲ以テ「ニコルスフィールド」</p> <p>「デルカルメン」各飛行場敵航空兵力ヲ攻撃、空</p> <p>中ニ敵機ヲ見ズ</p> <p>ニ戦果</p> <p>爆撃炎上 小型機三（「ニコルスフィールド」）</p> <p>三三一〇基地ニ派遣セル陸上攻撃機六機ノ中三機歸</p> <p>還尙一機ハ小修理ノ上明日歸投可能ノ見込</p> <p>四本日三一〇基地ニ敵襲ナシ飛行場漸次整備セラレ</p> <p>驟雨頻來スルモ少數小型機ノ使用ニ差支ナシ</p> <p>ニ被害ナシ</p>

一五		<p>一 美幌航空隊中攻二十三機ヲ以テ南支那海及「ボルネオ」要地ノ搜索偵察及「タイランド」灣敵潜水艦攻撃（午前午後各一回）ヲ實施ス</p> <p>二 飛行索敵ニヨリ一〇〇〇「クワンタン」ノ五〇度</p> <p>一 一〇湮ニ敵潜水艦一隻潛没スルヲ認ム又「クワンタン」飛行場ニ大型飛行機三機ヲ認ム</p>
一六	〇四五〇	<p>「コタバル」第二次上陸部隊〇四四五入泊海上敵影ヲ見ズ</p>

(終)

作戰經過概要第八號

8
20

軍司令部第一課

0817

日	時刻	記
一二四	一六五〇	松井兵團ハ主力ヲ以テ「グルン」ハ「スンゲイバタニ」北方三〇軒ニ遷ス
一四	二〇〇〇	宇野支隊ハ「ビクトリアポイント」ヲ占領ス
一五	一〇三〇	大艇八機ハ「一〇三〇」ウオツシエ」發進日没後熾烈ナル地上砲火ヲ冒シ「一六一〇」ウエイキ」島本島北部宿舍地區ヲ爆撃シ多大ノ損害ヲ與ヘ全機歸還ス
一五	一一五一	敵双發飛行艇一機「トコベイ」ニ飛來ス
一六	〇〇三〇	川口支隊及海軍「ボルネオ」基地部隊泊地着〇三〇〇頃上陸開始奇襲上陸ニ成功ス

1

南支部隊指揮官↓總長・CSF司令長官

機密第四四〇番電

南支部隊戰鬥概報（十二月十五日）

一主隊及監視部隊ハ敵ノ脱出ニ備ヘ香港周邊ヲ嚴重ニ監視シツツアリ。

第十一水雷隊ハ二二〇〇南及西水道方面ヨリ來襲セル敵魚雷艇二隻ヲ砲撃撃攘セリ

二進撃部隊ハ大嶼山北方水道ノ清掃及香港港内監視續行中ナリ

三南支飛行機隊ハ好天候ニ乗ジ終日全機（二機）ヲ以テ反覆一延機數十四機ハ敵艦艇及砲台ノ攻撃ヲ實施敵魚雷艇四隻以上ヲ確實ニ撃沈セル外砲台ニ相當ノ損害ヲ與ヘタリ

以下略

一六	〇七四五	東港航空隊飛行艇ノ偵察ニヨリ北緯四度二四分、東經一二七度四七分ニ敵潜水艦三隻ヲ發見シ爆撃油及氣泡等湧出セルヲ認ム
一六	午 前	「サンジャツク」岬ノ一三四度五六湮及午后同岬沖五湮附近ニ潜水艦ヲ發見セリ
一六	一二〇〇	KF長官↓總長、大臣、GF長官 機密第二七〇番電
一六	一二〇八	馬來部隊ハ先遣兵團第二次上陸部隊ノ輸送船隊（四一隻）ヲ護衛十三日「カムラン」灣發十六日〇四四五ヨリ一〇〇迄ノ間ニ無事「シンゴラ」「バタニ」「コタバル」ニ入泊セシメタリ
一六	一三〇九	南鳥島ノ零度二五〇湮ニ潜水艦ラシキ航跡ヲ認ム 伊七五潛ハKaIuIuI灣内敵商船ヲ砲撃ス

一六	一四〇〇	南方部隊航空部隊指揮官↓第一空襲部隊指揮官 電令作第六號 東航空飛行艇二機ヲ「レガスビ」ニ派遣「スル」海及 「モロ」灣方面敵艦艇ノ搜索ニ任ズベキ旨發令
一六	一四二〇	「ジョンストン」ヨリ「ホノルル」宛（敵信） 一四二〇「ジョンストン」水上艦艇ニ依リ攻撃セラレタリ
一六	一五〇〇	陸軍輸送船熱田山丸三亞岬一二〇度二〇湮ノ地點ニ於テ 敵潜水艦ノ攻撃ヲ受ケ中央部ヨリ火災ヲ生ズ
一六	一七四五	敵飛行機警戒艦ラシキモノ一隻「ウエイキ」島ノ一〇五 度四二〇湮附近ニ感受ス
一六	一八四五	東港航空隊司令↓南方部隊 機密第五「三番電」 「午前十時四十分」「キヤノバス」商船一、飛行艇二（コ ンソリデイト）「ソロン」ニ在リ

一六 一九二〇

二〇七四五北緯四度二四分、東經一二九度四七分ニ敵潛
水艦三隻發見敵針路六〇度（内一隻ハ擊沈セリ）
三一〇三〇北緯二度三〇分、東經一二六度六分ニ潛沒潛
水艦三隻發見敵針三四〇度

南方部隊航空部隊指揮官↓GF長官、2F長官

機密第五九一番電

南方部隊航空部隊戰鬥概報第九號

一 第二遣支艦隊ノ要望ニ依リ陸上攻撃機四四機ヲ以テ香
港ヲ攻撃セリ

(イ) 摩星嶺砲台ニ對シ八〇番二七發、二十五番一二發、

六番一八發命中指揮所、觀測所覆滅ス

(ロ) 「アバーデンドック」前面驅逐艦一隻、商船一隻ニ

對シ夫々二五番各一直撃火災、同商船ニ對シ二五番

一至近彈

一六二二二〇

ニ「マニラ」灣方面偵察

一「マニラ」灣内驅逐艦二隻、潜水艦三隻、飛行艇二隻
商船約二〇隻、其ノ他敵艦艇ヲ見ズ

ニ被害ナシ

先遣部隊指揮官↓GF長官

機密第五七九番電

一十五日夜伊四潛ハ「オアフ」島東水島外ニテ大型貨物

船一隻ヲ撃沈セリ

ニ十六日薄暮伊二十二潛及伊十八潛ハ「クエゼリン」基

地ニ歸投ノ途次「ジョンストン」ヲ奇襲。飛行艇格納

庫ニ大火災ヲ起サシメ其ノ他廳舎、兵舎、倉庫等ノ大

部ヲ全焼セシメタリ

ニ我ニ損害ナシ

一六二二三〇 先遣部隊指揮官↓第三潜水部隊

機密第五七八番電

先遣部隊電合作第一八號

第三潜水部隊ハ歸投ノ途次「ジョンストン」及「バルミ

ラ」島ニ對シ潜水艦各二隻ヲ以テ「キングマンリーフ」

ニ對シ一隻ヲ以テ艦船並ニ施設ヲ奇襲スベシ

一六二二三三〇 通信部隊指揮官↓GF長官、横鎮長官等

機密第三一番電

一九〇〇頃日本近海ニ出現セル敵潜水艦ノ方位測定概位

一八丈島ノ西方四〇哩一隻

ニ宮崎方位測定所ノ八五度一隻

ニ父島ノ五四度、五七度、五九度各一隻

一六二三四五 司令↓KF長官、7S司令官等

機密第九六番電

一六		<p>(一) 川口支隊ハ一部ノ敵抵抗ヲ排シ十六日〇八〇〇迄ニ「ミ リ」一「ルトン」一「セリヤ」一「?」ヲ完全ニ占領セリ (二) 敵ハ九日以來各所共ニ石油施設ノ大部ヲ破壊ス 南支飛行機隊ハ延一〇機ヲ以テ敵艦艇及摩星嶺砲台ノ攻 撃ヲ實施砲艦二、擊沈二隻ニ損害ヲ與ヘタル外砲台ニ相當 ノ損害ヲ與フ</p>
一六		<p>新嘉坡ノ飛行偵察ノ結果 軍港内巡洋艦二、驅逐艦二、潜水艦一、商港商船大小約 一〇〇、一「プロウピン」島東端附近ニ防材ヲ設置シアリ 「センター」飛行場ニ小型機一二、「モンバワン」飛行場 ニ大型機一六、一「テンガー」飛行場ニ小型機二 「ミリ」上陸ノ際激浪ノ爲大發三隻顛覆死亡一九名、行 衛不明一五名ヲ生ズ 「ミリ」方面十六日ノ鹵獲品大小舟艇一三隻、自動車二 〇台、彈藥、燃料其ノ他多數</p>
一六		

4F長官↓總長、GF長官

機密第六二三番電 其ノ一ニ

南洋部隊戰鬪概報第八號（十二月十六日）

一「ウエイキ」攻撃隊中攻三二機〇五四〇「ルオツト」

發一一一五爆撃、被弾機三機アリシモ全機歸還セリ

ニ空中ニ敵戰鬪機一機（高度約七、〇〇〇米ニ在リシモ

交戦セズ）掩體内一機「エプロン」附近一機ヲ認ム

三高角砲ハ移動式多キガ如シ「ピール」島ニ約一二門、

「ウエイキ」島本島ニ約八門アリテ應射熾烈

四小型商船ハ礁内ニ在泊中ナリ

五戰果 攻撃隊ノ半數ヲ以テ「ウエイキ」島本島ヲ攻撃

重油「タンク」、火藥庫及倉庫群ヲ火網ニテ覆ヒ數箇所爆

發特ニ「タンク」ハ二箇所炎上無煙天ニ冲セリ爾餘ノ攻

撃隊ハ「ピール」島ヲ攻撃倉庫基地施設及電信所等ヲ彈

幕ニテ覆ヒ多數ノ直撃彈ヲ以テ爆破數箇所炎上セシメタリ

一七	〇七〇〇	<p>八丈島ノ東約二軒ニ潜水艦一隻發見ス</p> <p>第三潜水部隊指揮官↓六砲艦隊司令、先遣部隊指揮官</p> <p>機密第二〇九番電</p> <p>十二月十七日〇二四〇伊號第七潜水艦飛行機眞珠港偵察報告</p> <p>在泊主要艦船戰艦四隻（内三隻橋樑其ノ他上部構造物大破、一隻損傷程度不詳）空母一以上 East Lock 東方泊地</p> <p>巡洋艦五隻、驅逐艦其ノ他小艦艇約三〇隻。Ford 島南</p> <p>東泊地沈没艦ヲシキモノヲ認ムルモ詳細不明ナリ。一バ</p> <p>ルミラ」灣口五哩附近驅逐艦三、同十哩附近哨艇數隻哨</p> <p>戒中</p>
一七	〇八二五	<p>黒潮ハ「バラオ」近海ニテ輸送船隊ヲ雷撃（命中セズ）</p> <p>セシ敵潜水艦ニ對シ攻撃ス。附近ニ油多量湧出シ撃沈確</p> <p>實ナリ</p>

一七	〇九〇〇	基隆金爪石監視哨ハ國籍不明ノ潜水艦二隻金爪石ノ北東約二〇軒ヲ北進スルヲ認ム
一七	〇九〇〇	東雲「セリヤ」ヨリ「ミリ」沖回航ノ途〇九〇〇以後消息ナク白雲「一ミリ」沖警戒艦及第七號驅潛艇ガ〇八五〇頃何レモ「バラム」燈台ノ北方十五軒附近ニ音響ト共ニ白煙天ニ冲スルヲ認メタル事ヨリ遭難確實ナリ
一七	〇九三五	機動部隊ハ南鳥島ノ三一度五八五哩ニ敵潜水艦一隻ヲ發見燦撃ヲ加ヘ撃沈確實ナリ
一七	午 前	「ミリ」ニ於テ神川丸觀測機ハ飛行艇燦撃機各一ヲ撃墜ス
一七	一一二二七	東港飛行艇（パラオ基地）ハ地點チソ四四ニ敵潛没潜水艦一隻ヲ認ム
一七	一二二二九	機動部隊ハ南鳥島ノ三〇〇度二〇哩ニ敵潜水艦一隻ヲ發見燦撃及燦雷攻撃ヲ加ヘ撃沈セルモノト認ムルモ稍不確實

一七	一五 一五	<p>隼ハ三亞灣角ノ二六〇度三三浬ニ於テ敵潜水艦ノ存在ヲ探知之ニ對シ爆雷攻撃ヲ實施ス、効果不明</p> <p>「ウエイク」島ノ二五二度二五浬ニ於テ呂六二潛監視哨戒中呂六六潛ト衝突、呂六六潛ハ瞬時ニシテ沈没ス一下士官四名ヲ救助セシノミ、呂六二潛ハ艦内異状ナク航行可能ナリ</p>
一七	二〇 三四	<p>「ミリ」附近ニ敵飛行機六機來襲シ輸送船ヲ攻撃セシモ命中セズ</p>
一七		<p>飛行偵察ニヨリ敵巡洋艦一隻ヲ「メナド」ニ潜水艦ラシキモノ四隻ヲ「セレベス」海中心部ニ發見ス</p>
一八	〇九 〇〇	<p>「セリヤ」方面ニ數回ニ互リ敵機來襲爆彈一發日吉丸ニ命中、戦死三名、負傷二十餘名ヲ生ズ</p>

経過記録

十一日 十四日

南洋方面

Wake - 特種偵察攻撃

- ① 24号 f4x8 17日 1555 Wake 3 空襲「ヒール」島西部標撃に陸上施設・倉庫、掩蔽壕、空機降着機銃一基、夜間照明灯地上灯火消滅。
- ② 24号 18日 f4x1 3 以て偵察、空襲飛行機、掩体、一機、空襲に命中。2 約4機、3 燃料タンク大破若くは炎上、空襲に命中。1 機、空中炎上。見：南水道入口、同平船標、2 以て閉塞。

○ 17日 0830 f8x1 4 「ヒール」島外南水道入口附近、特種偵察及潜水艇一隻、若くは標撃に命中。

○ 海軍海昌丸 17日 「ヒール」島南西70哩附近に特種偵察機「海丸」18日 1400 「ヒール」島附近に特種偵察機、機銃掃射、受ける海昌丸は若干の被害を蒙る。

0825

○ 18日 1230, 1800, 二回 英飛艦 2基 greenwich 島 = 第 1 標 降 約
10 個 3 枚 下 以 能 撃 破 補 官 十 二。

○ 18日 2050 第三 玉 丸 (8 号) の 噴 霧 中 「ウツクツ」 艦 号 南 東 5 哩 以 前 方
近 二 可 命 決 意 見 該 艦 上 三 通 也 觸 座 三 威 心 爆 撃 攻 撃 三 行 二 効 果 確 實
一 見 也。

○ AA 第 9 次 攻 撃 隊 隊 員 27 名 ¹⁰⁸⁸⁵ 艦 上 高 角 砲 射 撃 三 見 込 場 又 三 回 七 二 島 砲 台
爆 撃 甚 大 十 餘 名 三 傷 一 合 標 帰 還 三。
少 佐 三 次 攻 撃 隊 一 報 告 中 機 一 機 十 支 隊 三 回 損 害 輕 微

馬來方面

○ 24 市街 0955 報「マニラ」機、機中3隻、神々丸觀測機之
追撃に逸す。

○ 無線探報、依以和蘭潛水艇日復180機 Anambas 島 Saigon 連
結探上現す。

○ 馬來部隊航空部隊、18日美機定中攻9機、以テ南支那海 Borneo 海
岸、索敵、其地 1025 Saigon、185° 200機、海上にテ敵飛行艇+空機
敵機、左發射機以自機3機にテ急降下雲中、見失、機中3機は、
其他7機は、沖10機、又「マニラ」沖10機にテ敵飛行艇3機、
産産空機x 27、Kuching, Pontianac、攻撃、向テ22 Natuna 諸島
以南、天候不良にテ、一部は、groot Natuna 島、集テ200機、迄テ1290

連 集
0831

英艦初船(1500T) 爆撃の被害甚しく 10機以上 Siantan 島に
抛投 爆撃 部落在部 破壊 煙囪塔 火船環

1912 1905 輸送船 御嶽山丸 灯台 NNE 85' 附近 敵艦の航 攻撃
被害に被害に 又F長官

海

軍

0832

比島方面

○南支那海航空部隊の1/4、高雄空、各艦隊隊の以て、和仁の空襲の攻撃
現に、新旧飛行場、爆撃、台南空「カスロ」派遣隊中機隊の協力に
所在敵機、銃撃す。

和仁港内5000噸級一隻、船中、旧飛行場に於て地上大型機2機、
銃爆撃、依り海上に以外飛行場施設に相当、控室に與す。

○比島部隊指揮官の各隊、概ね一月以上、Davaoに集るに決り、作務に準備
を槽下す。

其他一般

0 0150 伊予潜 - Oahu 岛南 220 哩, 地直 235, 5000T, 货船一艘
17 隻 3 艘沉没

0 潜戸内 - 潜入 2 艘潜, 犹忆
是 2 日 夜情

0987 山城 飛行機 大小 意 潜 岛, 270° 2 哩, 地直 2 潜, 潜望鏡 3
1 3 哩 ~ 7 哩, 範圍 2 哩 起 迄 航 岸 友 治 助, 其 後 舟 根 崎 燈 台
7 發 見 3. 30 月 1716 飛行機 投下 如 發 走 着 2 回 - 并 2 艘 潛 望 鏡 3 所, 3 日 早 不 明
18 日 起 告 2 次 危 情 3 感 2. / day work 23 25 27 everything OK.

0 Buenos Iles 夜 - 1 隻 - Mississippi 河 2 隻 2, 30 号 Panama 7 0 0 0 1
Jeabo, New Mexico 海 軍

○ 記測定之依之航程:

① 米航船一隻 Palawan 向北西

② 和蘭船一隻, Koti 海峽

③ 吉船一隻, 一段 文島, 58°

○ 集 ^立 1215 東州島燈台, 196° 8 徑之 取潛, 爲軍 2 後 3 受 4 7 有 中 22
直 19 以 及 軍 有 効 確 實 地 爆 炸 改 善 了 航 行 年 記 記 述 以 後 4.

海

軍

0835